

2017年8月現在

プラスチック成形加工学会 新加工技術専門委員会の委員募集

委員長 横井秀俊、副委員長 佐藤 勲

近年、“モノづくり”拠点の海外シフトによって製造業空洞化の波が急激に押し寄せ、長引いた経済の低迷が、企業の体力と技術開発力を衰退させてきました。こうした中、新しい技術を生み出す意欲を Encourage する場を本学会の中に求める声にこたえて、伸びようとする若い研究者、技術者が分野を問わず集い、新しい着想や工夫や試みを吸収し、情報交流を通して明日につながる知恵を皆で議論する場として、平成 15 年 9 月に「新加工技術専門委員会」が新たに立ち上がりました。平成 29 年 8 月現在までに、下記のように合計 58 回の委員会を開催しています。

～♪・新委員募集のお知らせ・♪～

☆新加工技術専門委員会は、現在、委員総数 54 名、参加企業・機関総数を数えておりますが、**現在来年度から参加の新委員を広く募集中です。**興味を持たれた方は、是非ご参加下さい（お問い合わせも歓迎です）。入会申込み等は、横井研究室（TEL 03-5452-6181）または、プラスチック成形加工学会（TEL 03-5436-3822）にご連絡下さい。

<新加工技術専門委員会参加企業・機関一覧>

アイオー・エム、RP 東プラ、秋元技術士事務所、浅野研究所、アドバネクス、アルプス電気、エイト、NOK、カネカ、小糸製作所、郡山ヒロセ電機、コニカミノルタ、埼玉県産業技術総合センター、サイバネットシステム、SABIC ジャパン合同会社、スターライト工業、住友重機械工業、住友電気工業、ダイキン工業、タカギセイコー、ツールハウス、帝人、東海理化、東芝、東芝機械、豊田合成、トヨタ紡織、南部化成、日本製鋼所、パナソニック、PSジャパン、日立マクセル、プラステコ、ブレインズコーポレーション、本間技術士事務所、松井製作所、宮川化成工業、ユースン精機、YKK、芝浦工業大学、東京工科大学、東京工業大学、東京大学、日本工業大学（総数 44 機関）

<新加工技術専門委員会：これまでの軌跡>

◎平成 15 年度の活動：第 1 回から第 4 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 1 回専門委員会（東京大学生産技術研究所）

平成 15 年 9 月 5 日開催・参加者 37 名

- 1) 講演 I 「成形の転写性改善技術」 舘山 弘文氏（ムネカタ）
- 2) 講演 II 「マイクロ成形加工の課題と対策」 東 啓二氏（松下電工）

2. 第2回専門委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）

平成 15 年 10 月 30 日開催・参加者 36 名

- 1) 講演 I 「熱可塑性プラスチックの型内塗装」 荒井 俊夫氏（宇部興産）
- 2) 講演 II 「微細金型と微細樹脂成形技術－LIGA プロセスを中心にして－」
沼澤 稔之氏（住友電工）
- 3) 講演 III 「バイオベースポリマー・ポリ乳酸の成形加工」
末松 征比古氏（三井化学）

3. 第3回専門委員会（京都大学 桂キャンパス）

平成 16 年 1 月 30 日開催・参加者 31 名

- 1) 講演 I 「二酸化炭素を利用した成形加工」 大嶋 正裕氏（京都大学）
- 2) 講演 II 「MuCell 成形の現状－成形技術・機械技術・生産状況・課題－」
上園 裕正氏（日本製鋼所）
- 3) 講演 III 「微細複製加工技術－数 10nm 精度の 3 次元形状を微細複製技術で転写－」
吉田 仁氏 / 土田 誠氏（オムロン）
- 4) 大嶋研究室見学

4. 第4回専門委員会（東京大学生産技術研究所）

平成 16 年 3 月 25 日開催・参加者 31 名

- 1) 講演 I 「ナノコンポジット材料の成形加工技術」 岡本 正巳氏（豊田工業大学）
- 2) 講演 II 「ナノプリント技術」 宮内 昭浩氏（日立製作所）
- 3) 講演 III 「バイオチップ成形技術の動向とシリコン樹脂製バイオチップの成形」
藤井 輝夫氏（東京大学）

◎平成 16 年度の活動状況：第 5 回から第 8 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第5回専門委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）

平成 16 年 6 月 29 日開催・参加者 43 名

- 1) 講演 I 「超音波を利用した成形加工技術の開発」 佐藤 淳氏（出光興産）
- 2) 講演 II 「アルミと硬質樹脂の一体化成形技術－新技術開発の裏話－」
成富 正徳氏（大成プラス）

2. 第6回専門委員会（京都大学 桂キャンパス）

平成 16 年 9 月 7 日開催・参加者 31 名

- 1) 講演 I 「マイクロセルラー発泡成形 RIM とマイクロセルラー発泡押し出し」
林 龍太郎氏（カワタ）
- 2) 講演 II 「燃料電池セパレータの成形加工技術と課題
－熱可塑性樹脂製セパレータを中心として－」
椋田 宗明氏（三菱電機）

3) 講演Ⅲ「ペーパーインジェクションモールディング (PIM) の開発」

氏橋 宣之氏 (大宝工業)

3. 第7回専門委員会 (東京大学国際・産学共同研究センター)

平成16年12月10日開催・参加者41名

1) 講演Ⅰ「旭化成における樹脂加工技術開発—外観改善 (TAF から AMOTEC まで) —」

土屋 徹氏 (旭化成ケミカル)

2) 講演Ⅱ「セラミック断熱金型による高転写率射出成形」

田原 久志氏 (三菱エンジニアリングプラスチックス)

3) 講演Ⅲ「Heat & Cool サイクル成形について」

堀内 英臣氏 (日本ジーイープラスチックス)

4) グループ・ディスカッション

テーマ 「外観不良対策 ; いかにして表面転写性を向上させるか」

4. 第8回専門委員会 (東京大学生産技術研究所)

平成17年3月3日開催・参加者41名

1) 講演Ⅰ「薄肉への微細V溝転写成形—射出圧縮と超高速充填の効果—」

村上 治氏 (三菱電機)

2) 講演Ⅱ「レーザーを応用した成形加工技術—転写から接合まで—」

佐藤 勲氏 (東京工業大学)

3) グループ・ディスカッション (班別討論50分/総合討論50分)

テーマ 「いかにして表面転写率を向上させるか」

◎平成17年度の活動状況：第9回から第12回までの4回の委員会を開催

1. 第9回専門委員会 (東京大学生産技術研究所)

平成17年6月14日開催・参加者45名

1) 講演Ⅰ「射出成形機の現状と動向 (最新のトピックス)」

今富 芳幸氏 (住友重機械工業)

2) 講演Ⅱ「ディスクスクリーに基づく新射出成形機の可能性」

竹内 宏氏 (新興セルビック)

3) 講演Ⅲ「超高速射出成形機から新しい成形技術まで」

小嶋 久司氏 (超精密成形技術コンサルタント)

4) グループ・ディスカッション (班別討論40分/総合討論30分)

テーマ 「未来の射出成形機」

2. 第10回専門委員会 (京都大学 桂キャンパス)

平成17年9月14日開催・参加者45名

1) 講演Ⅰ「非プラスチック材料の何でも射出成形技術—特殊射出成形機の変遷—」

高山 和利氏 (日精樹脂工業)

2) 講演Ⅱ「光学部品の新成形技術

—ゲートシール成形から再溶融成形、射出離隔成形まで—」

- 3) 講演Ⅲ 「強磁場を利用した高分子材料の高機能化」
山中 康生氏(リコー)
飛田 雅之氏(ポリマテック)
- 4) 大嶋研究室見学

※この回は、グループ・ディスカッションは行われませんでした。

3. 第 11 回専門委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス)
平成 17 年 12 月 1 日開催・参加者 43 名
- 1) 講演Ⅰ 「高速ヒートサイクル成形技術の開発と新しい展開」
宇野 泰光氏 (小野産業)
 - 2) 講演Ⅱ 「炭酸ガス充填効果による微細転写射出成形」
赤松 雅治氏 (住友重機械工業)
 - 3) 講演Ⅲ 「MIM と CIM の最新技術ーシングルステップシステムおよび
非鉄系金属材料、セラミックス材料の成形技術についてー」
寒川 喜光氏 (モールドリサーチ)
 - 4) グループ・ディスカッション (班別討論 40 分/総合討論 30)
テーマ 「私が見つけた “IPF の新加工技術”」

4. 第 12 回専門委員会 (理化学研究所 中央研究所)
平成 18 年 3 月 3 日開催・参加者 39 名
- 1) 講演Ⅰ 「ナノ超精密・高機能金型加工とデスクトップマイクロ成形」
大森 整氏 (理化学研究所)
 - 2) 講演Ⅱ 「高速ミーリングによる微細加工、特殊加工」
安齋 正博氏 (理研 先端技術開発支援センター)
 - 3) 講演Ⅲ 「エレクトロスプレー・デポジション法による微細パターンニングとその応用」
山形 豊氏 (理化学研究所)
 - 4) 大森素形材工学研究室、先端技術開発支援センター見学

◎平成 18 年度の活動状況：第 13 回から第 16 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 13 回専門委員会 (東京大学生産技術研究所)
平成 18 年 6 月 27 日開催・参加者 37 名
- 1) 講演Ⅰ 「マイクロセルラープラスチックの新規パターン泡技術と
液晶バックライト部材への応用」 高田 知行氏 (王子製紙)
 - 2) 講演Ⅱ 「ゴム、液状シリコーンの射出成形における完全ランナレス成形装置の開発」
田中 義照氏 (世紀)
 - 3) 講演Ⅲ 「型内組立て成形による高付加価値化」 金澤 卓也氏 (日本製鋼所)
- ※この回は、グループ・ディスカッションは行われませんでした。
2. 第 14 回専門委員会 (京都大学桂キャンパス)
平成 18 年 9 月 15 日開催・参加者 36 名
- 1) 講演Ⅰ 「超臨界流体を用いた表面改質射出成形技術の開発」遊佐 敦氏 (日立マクセル)
 - 2) 講演Ⅱ 「二回成形法による MID の展開」 湯本 哲男氏 (三共化成)
 - 3) 講演Ⅲ 「メタリック着色材料のウェルドライン解消方法について」
秋元 英郎氏 (三井化学)

※この回は、グループ・ディスカッションは行われませんでした。

3. 第15回専門委員会（東京工業大学大岡山キャンパス）

平成18年11月30日開催・参加者35名

- 1) 講演Ⅰ 「”軽薄短小”の加工技術に対する設備・金型・材料のあり方」
真籠 徹也氏（アルプス電気）
- 2) 講演Ⅱ 「自動車部品を対象想定した高出力ファイバレーザによる加工技術
ーリングビーム光学系を利用した高速樹脂溶着の検討ー」
池田 剛司氏（レーザックス）
- 3) 講演Ⅲ 「成形加工を見ることへの取り組み」 齊藤 卓志氏（東京工業大学）
- 4) 東工大研究室見学（鞠谷、村上、佐藤研の3研究室を見学）

4. 第16回専門委員会（東京大学生産技術研究所）

平成19年3月2日開催・参加者37名

- 1) 講演Ⅰ 「自動車用樹脂インテークマニホールドの製造技術
ーダイスライドインジェクションとの格闘ー」
小山 弘氏（トヨタ紡織株式会社）
- 2) 講演Ⅱ 「誘導加熱金型による成形品外観向上の検討」 村田 泰彦氏（日本工業大学）
- 3) 講演Ⅲ 「超音波による熔融高分子中の微細粒子分散技術の検討」
末次 義幸氏（出光興産）
- 4) 東大生研 横井研 実験室見学

◎平成19年度の活動状況：第17回から第21回までの5回の委員会を開催

1. 第17回専門委員会（東京工業大学 大岡山キャンパス）；全体会

平成19年5月18日開催・参加者34名

- 1) 講演Ⅰ 「回転成形の現状と将来
ー古くて新しい成形法はどのように脱皮しようとしているかー」
五十嵐 敏郎氏（スイコー）
- 2) 講演Ⅱ 「ナノインプリントプロセス技術と実用化展開ー大面積化へのアプローチー」
後藤 博史氏（東芝機械）
- 3) 講演Ⅲ 「積層造形法ー粉末焼結積層造形を中心にー」
新野 俊樹氏（東京大学生産技術研究所）

2. 第18回専門委員会（京都大学 桂キャンパス）；超臨界流体利用成形加工分科会

平成19年10月19日開催・参加者28名

- 1) 講演Ⅰ 「M u C e l l 微細発泡押出成形技術と将来展望について」
免出 幸雄氏（日本製鋼所）
- 2) 講演Ⅱ 「超臨界射出成形における金型内発泡状況の観察」
山田 岳大氏（埼玉県産業技術総合センター）

3) 講演Ⅲ 「特許情報から見た射出発泡成形技術」

秋元 英郎氏 (三井化学)

3. 第 19 回専門委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス) ; 成形プロセス計測・制御分科会

平成 19 年 12 月 6 日開催・参加者 30 名

1) 講演Ⅰ 「樹脂可塑化状態計測と成形品品質の相関解析」

龍野 道宏氏 (日精樹脂工業)

2) 講演Ⅱ 「微細矩形溝における転写プロセスの可視化解析」

阿部 昌博氏 (住友重機械工業)

3) 講演Ⅲ 「3次元デジタイザによる樹脂部品評価の効率化」

稲城 正高氏 (コニカミノルタテクノロジーズ)

4. 第 20 回専門委員会 (日本工業大学) ; 成形金型技術分科会

平成 20 年 1 月 25 日開催・参加者 31 名

1) 講演Ⅰ 「超音波ミリングによる精密金型加工技術」

神 雅彦氏 (日本工業大学)

2) 講演Ⅱ 「金属光造形複合加工金型技術について」

東 喜万氏 (松下電工)

3) 講演Ⅲ 「微細転写成形のための超精密金型および局所温調法」

加藤 隆典氏 (住友重機械工業)

4) 日本工業大学 先端材料技術研究センター、神研究室、村田研究室を見学

5. 第 21 回専門委員会 (東京大学生産技術研究所) ; 全体会

平成 20 年 3 月 7 日開催・参加者 37 名

1) 講演Ⅰ 「キャビティ空間移動を活用した新規射出成形法の開発」

阿江 晴彦氏 (出光興産)

2) 講演Ⅱ 「水アシスト射出成形の最新技術動向」

Thomas Auboeck (Engel)

*講演通訳: 松岡 宏和氏・佐藤 真人氏 (コーレンス)

3) 講演Ⅲ 「薄肉大面積マイクロ・ナノ構造体の熔融微細転写システム」

焼本 数利氏 (日本製鋼所)

◎平成 20 年度の活動状況 : 第 22 回から第 25 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 22 回専門委員会 (東京工業大学 大岡山キャンパス) ; 全体会

平成 20 年 6 月 10 日開催・参加者 40 名

1) 講演Ⅰ 「射出プレス成形の新技術開発」

成瀬 慶亮氏 (名機製作所)

2) 講演Ⅱ 「射出圧縮成形における傾斜プレス樹脂充填制御」

平井 雅人氏 (山本鉄工所)

- 3) 講演Ⅲ「超高速射出圧縮成形による限界部分薄肉成形」
山口 城氏(南部化成)
2. 第 23 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;成形プロセス計測・制御分科会
平成 20 年 10 月 2 日開催・参加者 33 名
1) 講演Ⅰ「光ディスク断熱スタンパーの開発」
小鷹 一広氏(リコー)
2) 講演Ⅱ「ナノインプリント・ナノプリント技術と応用」
谷口 淳氏(東京理科大学)
3) 講演Ⅲ「並走流ウェルドライン その構造と物性を探る」
山田 浩二氏(大阪市立工業研究所)
3. 第 24 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形金型技術分科会
平成 20 年 12 月 4 日開催・参加者 39 名
1) 講演Ⅰ「Y-HeaT ウェルドレス成形技術の開発と実用化」
吉野 隆治氏(山下電気)
2) 講演Ⅱ「私の技術的エポックメイキング」
内尾 舜二氏(光エネルギー応用研究所)
3) 講演Ⅲ「IMD(インモールド転写加飾成形システム)成形同時転写システムについて」
伊藤 忠広氏(日本写真印刷)
4. 第 25 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会
平成 21 年 3 月 6 日開催・参加者 39 名
1) 講演Ⅰ「3現主義による不良改善ネットワーク～適量供給・飢餓供給の考え方～」
春名 義昭氏(第一実業)
2) 講演Ⅱ「『せん断発熱融解モデル』の問題点と、『ポストせん断発熱融解モデル』の射出成形への
応用」
神谷 宗克氏(SPIRAL LOGIC)
3) 講演Ⅲ「CFRP 成形技術の動向と新成形技術の開発」
須賀 康雄氏(東レ)

◎平成 21 年度の活動状況：第 26 回から第 29 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 26 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会
平成 21 年 7 月 7 日開催・参加者 27 名
1) 講演Ⅰ「樹脂成形部品の残留応力評価技術の開発」
加田 雅博氏(ポリプラスチック)
2) 講演Ⅱ「成形プロセスの超音波計測」
堀 三計氏(東京農工大学)
3) 講演Ⅲ「ISO に準拠した高分子材料の耐傷つき性評価手法—傷つき機構解析の事例—」
小滝 雅也氏(京都工芸繊維大学)
2. 第 27 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会
平成 21 年 9 月 10 日開催・参加者 28 名

1) 講演 I 「NPE-2009 に見る射出成形機、金型技術」

岡村 功氏

2) 講演 II 「シリコーンゴム型を用いた実物モデルの光成形」

栗原 文夫氏(テクノポリマー)

3) 講演 III 「電磁誘導加熱システム コンポジットやプラスチック用成形テクノロジー」

レヌー ニコラ氏(ロックツール)

3. 第 28 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成 21 年 12 月 17 日開催・参加者 30 名

1) 講演 I 「透明成形品の複屈折の 2 次元分布評価」

井上 喜彦氏(フォトニックラティス)

2) 講演 II 「新しい集積熱電対センサによる樹脂温度測定」

中村 高志氏(キヤノン)

3) 講演 III 「CFRP の成形・損傷モニタリング」

轟 章氏(東京工業大学)

4. 第 29 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所);全体会

平成 22 年 3 月 9 日開催・参加者 30 名

1) 講演 I 「マイクロモールディングの最新技術・研究動向」

伊藤 浩志氏(山形大学)

2) 講演 II 「超高分子ポリエチレン成形技術から最近の成形技術改善事例まで」

佐藤 功氏(佐藤功技術事務所)

3) 講演 III 「潜熱を利用した金型高速冷却技術」

清水 元治氏(松井製作所)

◎平成 22 年度の活動状況：第 30 回から第 33 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 30 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成 22 年 6 月 11 日開催・参加者 33 名

1) 講演 I 「CIM(セラミックス粉末の射出成形法)の現状と今後の展望」

北村 治雄氏(宮川化成工業)

2) 講演 II 「コア回転・配向制御射出成形技術を使った射出成形品の性能向上」

中村 太一氏(スターライト工業)

3) 講演 III 「複合繊維の高速溶融紡糸における複屈折制御性を利用した光学機能繊維の開発」

鞠谷 雄士氏(東京工業大学)

2. 第 31 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所);全体会

平成 22 年 9 月 14 日開催・参加者 33 名

- 1) 講演Ⅰ「材料と成形加工の融合技術によるもの作り」
本間 精一氏(本間技術士事務所)
- 2) 講演Ⅱ「ポリ乳酸の射出成形金型技術と超臨界微細発泡射出成形への応用」
小松 道男氏(小松技術士事務所)
- 3) 講演Ⅲ「夢と感動を力に挑戦する新成形加工！」
東 啓二氏(パナソニック電工)

3. 第32回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成22年12月16日開催・参加者30名

- 1) 講演Ⅰ「ポリアミド樹脂製屈曲パイプの射出成形と実用特性」
片桐 寛機氏(RP 東プラ)
- 2) 講演Ⅱ「射出成形品のそり変形要因と樹脂流動」
瀬戸 雅宏氏(金沢工業大学)
- 3) 講演Ⅲ「ニッチな領域を行くレーザ加工研究」
池野 順一氏(埼玉大学)

4. 第33回専門委員会(東京大学 生産技術研究所);全体会

平成23年3月1日開催・参加者34名

- 1) 講演Ⅰ「K2010のトピックス報告ー金型加熱冷却技術関係を中心にー」
秋元 英郎氏(秋元技術士事務所)
- 2) 講演Ⅱ「ロストワックス精密樹脂成形法(LWIM)について」
小堺 規行氏(住友大阪セメント)
- 3) 講演Ⅲ「X線CTによるプラスチック成形品内部構造の解析」
高橋 雅興氏(京都工芸繊維大学)

◎平成23年度の活動状況：第34回から第37回までの4回の委員会を開催

1. 第34回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成23年6月9日開催・参加者27名

- 1) 講演Ⅰ「MRI および軟X線による「その場」計測～燃料電池内物質輸送の解明に向けて」
津島 将司氏(東京工業大学)
- 2) 講演Ⅱ「冷却速度制御による精密射出成形法の開発 円筒形状樹脂部品の収縮特性」
今泉 賢氏(三菱電機)
- 3) 講演Ⅲ「金属粉末射出成形法(MIM)による高機能化への挑戦」
田中 茂雄氏(太盛工業)

2. 第35回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成23年9月27日開催・参加者34名

1) 講演Ⅰ「古くて新しいプラスチック熱溶着」

田中 昌浩氏(ムネカタ)

2) 講演Ⅱ「最新の振動溶着工法—CVTについて」

澤野 盛之氏(日本エマソン)

3) 講演Ⅲ「ハイブリッド成形:金属と樹脂の同時成形」

小川 正則氏(小島プレス工業)

3. 第36回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成23年12月8日開催・参加者36名

1) 講演Ⅰ「IPFに見る注目の新技術報告-発泡(MuCell)・ヒート&クール・型内加飾技術関係を中心として-」

秋元 英郎氏(秋元技術士事務所)

2) 講演Ⅱ「伝熱制御の視点から急速加熱/冷却金型を考える」

齋藤 卓志氏(東京工業大学)

3) 講演Ⅲ「光ファイバーを利用した新しい射出成形型内センサーについて」

野原 康弘氏(双葉電子工業)

4. 第37回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成24年3月6日開催・参加者35名

1) 講演Ⅰ「最新の3次元表面加飾技術 TOM 工法 Three dimension Overlay Method」

三浦 高行氏(布施真空)

2) 講演Ⅱ「多孔ポリマーフィルムの射出成形ナノスケール・スタンパーへの応用」

高木 優子氏(三菱ガス化学)

3) 講演Ⅲ「赤外線レーザーによるプラスチック溶着 —赤外線透明固体ヒートシンク利用—」

黒崎 晏夫氏(電気通信大学)

◎平成24年度の活動状況：第38回から第41回までの4回の委員会を開催

1. 第38回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成24年6月29日開催・参加者33名

1) 講演Ⅰ「マイクロニードルシステムの開発と成形加工」

田丸 卓也氏(ASTI)

2) 講演Ⅱ「成形材料の粘度バラつきの影響低減—スクリー回転負荷検証による材料形態の最適化—」

真籠 徹也氏(アルプス電気)

3) 講演Ⅲ「シボの最新技術動向」

渡邊 豊彦氏(棚澤八光社)

2. 第39回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成24年9月13日開催・参加者35名

1) 講演Ⅰ「熱可塑性 CFRP 成形技術の動向」

米山 猛氏(金沢大学)

2) 講演Ⅱ「レザリッジ技術について」

近藤 秀水氏(ポリプラスチック)

3) 講演Ⅲ「HEAT&COOL 成形オイル温調機によるメタリック材配向レス成形の現状」

金子 光雄氏(富士精工)

3. 第40回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会
平成24年12月6日開催・参加者36名

1) 講演Ⅰ「接着の基礎と異種材料の接着接合」

佐藤 千明(東京工業大学)

2) 講演Ⅱ「真空成形の動向と熱板式被覆成形機の技術開発」

溝口 憲一氏(浅野研究所)

3) 講演Ⅲ「環境負荷の少ない高外観金型及びスプルーブッシュ」

朝賀 隆氏(ロイヤルエンジニアリング)

4. 第41回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会
平成25年3月11日開催・参加者36名

1) 講演Ⅰ「連続繊維強化熱可塑性樹脂複合材料のハイサイクル成形法の開発」

仲井 朝美氏(岐阜大学)

2) 講演Ⅱ「キャップ人生45年(考え考え抜いて製品開発および特許出願)」

林田 光治氏(三笠産業)

3) 講演Ⅲ「二軸延伸ブロー成形の技術動向と最新技術の紹介」

折元 宏行氏(フロンティア)

◎ 平成25年度の活動状況：第42回から第45回までの4回の委員会を開催

1. 第42回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会
平成25年6月25日開催・参加者38名

1) 講演Ⅰ「赤外線サーモグラフィを用いたシリンダ内樹脂温度測定と発火現象について」

安江 昭(日本製鋼所)

2) 講演Ⅱ「テラヘルツ計測と加工技術応用への展望」

梶原 優介(東京大学)

3) 講演Ⅲ「ポーラス電鋳の開発と成形加工における電鋳技術の新展開」

大山 寛治(KTX)

2. 第43回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会
平成25年9月20日開催・参加者31名

1) 講演Ⅰ「ホットランナー(HR)の最新技術動向」

岡村 功氏

2) 講演Ⅱ「金型内環境改善装置『エコベント』について」

斎藤 輝彦氏(斎藤金型製作所)

3) 講演Ⅲ「LEDを用いた面発光照明『ユニブライツ技術』について」

佐藤 榮一氏(オプトデザイン)

3. 第44回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成24年11月28日開催・参加者35名

1) 講演Ⅰ「K2013 視察報告」

秋元 英郎氏(秋元技術士事務所)

2) 講演Ⅱ「高熱伝導樹脂と熱物性計測について」

関根 誠氏(ベテル)

3) 講演Ⅲ「高分子材料の熱物性(熱拡散率等)の計測手法の実際と特徴、標準化」

森川 淳子氏(東京工業大学)

4. 第45回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成26年3月4日開催・参加者38名

1) 講演Ⅰ「YKKのモノづくり 樹脂製品 徹底した一貫生産のものづくり」

田中映氏(YKK)

2) 講演Ⅱ「K見本市で注目された最新の射出成形加工システム

”長繊維ダイレクト、フリーホーマー、微細発泡”

高萩 征男氏(アーブテクノ)

3) 講演Ⅲ「光ファイバセンサによる 金型の最新測定技術」

高橋 久範氏(富士テクニカルリサーチ)

◎ 平成26年度の活動状況：第46回から第49回までの4回の委員会を開催

1. 第46回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会

平成26年6月26日開催・参加者28名

1) 講演Ⅰ「グラスウール強化熱可塑性樹脂の製造と応用技術」

村上 徹氏(マグ・インペール)

2) 講演Ⅱ「プラスチック製品の光学計測技術と事例、新たな展開」

西島 直樹氏(パルステック工業)

3) 講演Ⅲ「レーザーを用いた高速転写技術」

長藤 圭介氏(東京大学)

2. 第47回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成26年9月26日開催・参加者33名

1) 講演Ⅰ「樹脂表面へのレーザー処理による二重成形技術」

廣田 晋一氏(ポリプラスチック)

2) 講演Ⅱ「無償の特許公開技術、あれこれ～開発の軌跡～」

竹内 宏氏(新興セルビック)

3) 講演Ⅲ「ベント孔から新たな息吹 ベント式射出成形法と繊維直接投入成形法 DFFIM」

市川 博章氏・片岡 明雄氏(日本油機)

3. 第48回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス);成形プロセス計測・制御分科会

平成26年12月11日開催・参加者28名

1) 講演Ⅰ「高感度微弱発光計測を用いたプラスチックの酸化劣化評価装置」

山田 理恵氏(東北電子産業)

2) 講演Ⅱ「名古屋大学ナショナルコンポジットセンターの取組と最新の研究成果」

石川 隆司氏(名古屋大学)

3) 講演Ⅲ「3D プリンターの最新技術動向と展望 – 本当のところは? –」

安齋 正博氏(芝浦工業大学)

4. 第 49 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会
平成 27 年 3 月 5 日開催・参加者 34 名

1) 講演Ⅰ「超臨界不活性ガスで環境に優しい発泡プラスチック製品をつくるには」

林 龍太郎氏(プラステコ)

2) 講演Ⅱ「CFRTPオンラインブレンド射出成形機の開発とハイブリッド成形への取組み」

浅沼 伸行氏(東芝機械)

3) 講演Ⅲ「高せん断成形加工技術による新規ナノコンポジットの開発」

清水 博氏(HSPテクノロジーズ)

◎ 平成 27 年度の活動状況 : 第 50 回から第 53 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 50 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会

平成 27 年 5 月 29 日開催・参加者 27 名

1) 講演Ⅰ「微細転写成形品にトレンチ工法を適用した微細回路形成技術の検討」

内藤 幸英氏(菱江化学)

2) 講演Ⅱ「計測ツールとしてのライトフィールドカメラ」

川口 達也氏(東京工業大学)

3) 講演Ⅲ「射出成形機における安定化技術の開発」

高次 聡氏(ファナック)

2. 第 51 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成 27 年 8 月 31 日開催・参加者 28 名

1) 講演Ⅰ「加熱・冷却成形金型の開発とその適用事例～射出成形からゴム圧縮成形まで～」

村田 泰彦氏(日本工業大学)

2) 講演Ⅱ「自己組織化を利用したハニカム状高分子フィルムの生産技術とその応用」

山崎 英数氏(富士フィルム)

3) 講演Ⅲ「未来の車は植物で創る – セルロースナノファイバーの製造と利用」

矢野 浩之 氏(京都大学)

3. 第 52 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会

平成 27 年 12 月 10 日開催・参加者 25 名

1) 講演Ⅰ「熱可塑性中間基材セミプレグと最新複合成形システム」

安江 昭氏(日本製鋼所)

2) 講演Ⅱ「放射光ラミノグラフィと画像相関法によるパワーモジュールの 3 次元内部ひずみ分布解析」

浅田 崇史 氏(豊田中央研究所)

3) 講演Ⅲ「赤外線サーモグラフィを用いた材料力学分野の計測」

井上 裕嗣 氏(東京工業大学)

4. 第 53 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成 28 年 3 月 8 日開催・参加者 36 名

1) 講演Ⅰ「金属－樹脂接合技術 TRI システムおよび離型薄膜 TIER コートの最新技術動向」

三浦 修平氏(東亜電化)

2) 講演Ⅱ「NATS 空気転写システムによる 3 次曲面の加飾技術」

塚原 大悟氏(ナビタス)

3) 講演Ⅲ「超臨界流体応用の最新成形技術の動向」

大嶋 正裕氏(京都大学)

◎ 平成 28 年度の活動状況 : 第 54 回から第 57 回までの 4 回の委員会を開催

1. 第 54 回専門委員会(東京工業大学 大岡山キャンパス) ;成形プロセス計測・制御分科会

平成 28 年 6 月 24 日開催・参加者 29 名

1) 講演Ⅰ「ヒータ式ヒート&クール Y-HeaT の最新技術動向と新しい可能性について」

吉野 隆治氏(山下電気)

2) 講演Ⅱ「PALAP(一括積層プロセス)熱流センサーの 新しい可能性」

矢崎 芳太郎氏(デンソー)

3) 講演Ⅲ「AM 技術に魅せられて－技術開発と今後の展開－」

早野 誠治氏(アスペクト)

2. 第 55 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;全体会

平成 28 年 9 月 15 日開催・参加者 27 名

1) 講演Ⅰ「超高機能構造タンパク質による素材産業革命と成形加工基本技術の開発」

鈴木 隆領氏(内閣府 革新的研究開発推進プログラム)

2) 講演Ⅱ「ガラス・樹脂一体成形品「Surfic」の開発」

小金澤 光司氏(旭硝子)

3) 講演Ⅲ「CFRP 高压容器の高生産性と高機能を実現する新規フィラメントワインダーの開発」

田原 良祐氏(村田機械)

3. 第 56 回専門委員会(東京大学 生産技術研究所) ;成形プロセス計測・制御分科会

平成 28 年 12 月 13 日開催・参加者 29 名

1) 講演Ⅰ「プラスチック・ゴム国際展示会 K2016 の報告」

秋元 英郎氏(秋元技術士事務所)

2) 講演Ⅱ「Introduction of Monomer Filter System “GAVEN”」

井学 庄司氏(ウィンテクノ)

3) 講演Ⅲ「成形加工プロセスにおける炭素繊維強化プラスチックの電磁非破壊評価」

小助川 博之氏(東北大学)

4. 第57回専門委員会(豊田合成株 春日工場) ;全体会

平成29年3月2日開催・参加者24名

1) 講演Ⅰ「欧州のおもしろ成形技術の紹介」

後藤 伸一氏(アイオー・エム)

2) 講演Ⅱ「豊田合成株の紹介および成形技術開発への取組み」

猪原 友紀氏、間瀬 佳昭氏(豊田合成)

3) ブレーキーホース製造ライン、ジョイントブーツ成形ラインの工場見学

◆当専門委員会は平成 29 年度も継続中です◆

平成 29 年度は全 4 回の委員会（うち、全体委員会 2 回、分科会 2 回）を行う予定です。

平成 19 年度に設置された下記の 3 分科会のうち、超臨界流体利用成形加工分科会と成形金型技術分科会は、別委員会として独立し、それぞれ「超臨界・亜臨界流体利用成形加工専門委員会」（委員長；大嶋 正裕 京都大学教授）と「成形金型技術専門委員会」（委員長；村田 泰彦 日本工業大学教授）として新たに活動を開始しています（新委員会への入会をご希望の方は、プラスチック成形加工学会（TEL 03-5436-3822）までご連絡下さい）。

成形プロセス計測・制御分科会は、新加工技術専門委員会の分科会として、そのまま継続します。

- ・超臨界流体利用成形加工分科会（主査：大嶋 正裕 京都大学教授）

- ・成形金型技術分科会（主査：村田 泰彦 日本工業大学教授）

⇒「超臨界・亜臨界流体利用成形加工専門委員会」

「成形金型技術専門委員会」として独立

- ・成形プロセス計測・制御分科会（主査：佐藤 勲 東京工業大学教授）

⇒当専門委員会の下に存続

～♪・平成 29 年度委員会開催予定・♪～

第 58 回：7 月 7 日（東工大） ～開催済み

第 59 回：10 月 4 日（金沢工業大）

第 60 回：12 月 19 日（東大生研）

第 61 回：3 月 6 日（東大生研）